

令和5年度KCみやぎ「放射光利用」成果報告会

2024年2月27日（火）に「令和5年度KCみやぎ産学共同研究会（テーマ指定型）「NanoTerasu活用に向けた農畜水産物・食品の測定・評価技術の開発と、企業・地域課題解決のための包括的利用システム構築（略称：放射光利用）」成果報告会」が開催されました。第1部の講演会には農学研究科大会議室に集まった約60名に加え、オンラインでも約40名の参加がありました。センター長の挨拶、A-Sync KCみやぎ「放射光利用」推進事務局からの活動概要の紹介に続き、測定に関する報告二件、測定会参加報告二件の発表がありました。NanoTerasuの利用の展望に関して活発な質疑応答で第1部が終了しました。第2部は対面参加者を2グループに分けバスでNanoTerasuに移動、見学会が行われました。ビームラインの整備が進んでおり、4月からの利用開始が近づいていることが感じられました。

[第1部]



原田昌彦センター長



事務局 堀籠智洋氏



日高将文氏
(A-Sync)



高山裕貴氏
(SRIS/A-Sync)



鈴木充子氏
(A-Sync)



水野徳久氏
(水野水産株式会社)

[第2部]

